

Safety Report

セーフティポ
若者生徒の行動変容が
評価された自転車教育

香川県高松市にある英明高等学校は生徒数 1461 人（平成 30 年 7 月末現在）の私立高校だ。全校生徒の約 6 割が通学に自転車を利用していることから、平成 26 年度より同校教頭代理で生徒指導主事を務める西本泰三さんが中心となって生徒に対する交通安全教育の強化を図ってきた。

「きっかけは、香川県警察本部が推進する『自転車運転免許制度※』のモデル校に指定されたことでした」と西本さんは振り返る。「自転車運転免許取得のための講習会とともに、新たな取り組みを始めようと考えていました。その時に香川県警察本部を通じて、Honda が全国に普及している高校生交通安全教育（下記参照）のことを知り、取り入れることにしたのです」。

平成 26 年度は自転車の「実技教育」として、「8 の字走行」などが Honda のスタッフによって実施された。「8 の字走行」は直径 10 m の円をつなげた 8 の字コース内を自転車 20 台で走行するという課題。全員でスムーズに走るために必要なことは何かを生徒に問いかけ、「他の人の動きをよく観る」「譲り合う」という答えを生徒から導き出すことがねらいだ。西本さんは「相手を思いやる気持ちがないと上手くいかないということを生徒に気づかせることができたと思います。交通安全教育は交通ルールを教え込むということが一般的だと思っていたので、生徒から考えを引き出すという手法は私たちにとっても勉強になりました」と Honda の教育ノウハウを評価する。

※自転車運転免許制度＝香川県が指定した講習を受けた高校生に自転車運転免許を交付する制度。現在は県教育委員会等の主導により実施している。

自転車安全教室によって
生徒の行動に変化が現れた

現在の自転車安全教室では「思いやり運転」という実技を活用している。自転車通行可の歩道を再現し、そこに生徒数名に立ってもらう。ある生徒は傘をさし、ある生徒は台車を押しているなど、実際の歩道の状況に近い環境をつくり出し、その生徒たちの間を別の生徒が乗る自転車がスピードを出して、前後から走り抜ける。スピードを出して歩道を走ると歩行者はどのように感じるかを実感してもらうのである。歩行者役の生徒からは「突然、自転車が真横に現れてビックリした」「後ろから来る自転車の気配を感じなかった」という声が聞かれた。「思いやり運転」を実施したことによって、学校周辺の歩道で生徒が自主的に自転車を降りて押し歩きするようになったと、西本さんはその教育効果を感じている。「まさに、自転車安全教室で伝えたことが実践されたといえます。新入生は先輩たちが自転車を押して歩くので、それを真似します。そして、5 月の自転車安全教室でなぜそうするのかを解説するのです」。さらに、TS マーク（自転車向け保険）も導入。香川県自転車軽自動車商協同組合の協力を得て、TS マーク加入の条件となる自転車の点検整備も校内一斉に行うこととした。これにより、毎年 4 月に自転車運転免許取得のための講習会、校内一斉自転車 TS マーク点検、5 月に Honda の高校生交通安全教育を活用した自転車安全教室という体制を西本さんはつくり上げた。この他にも、3 月に交通事故被害者の遺族の方による講話を行うなど、それぞれが学校行事として定着している。



自転車安全教室で実施している「思いやり運転」。スピードを出して歩道を走ると歩行者はどのように感じるかを実感してもらう



学校周辺の歩道では生徒が自主的に自転車から降りて歩いている



校内一斉自転車 TS マーク点検



自転車運転免許取得のための講習会



教員を対象にした校内インストラクター講習会

来年度からはクラス担任が
自転車安全教室の指導者に

平成 27 年度からは Honda のスタッフを講師として招き、教員を対象に校内インストラクター講習会を行っている。「当校は私立なので、教員の転勤がありません。だから、全教員が自転車の指導ノウハウを身につければ、自転車安全教室のインストラクターができます。これまでは私を含め生徒指導の教員を中心に担当してきましたが、来年度からは各クラスの担任が自転車安全教室の指導にあたる予定です」と西本さんは説明する。

そして、英明高等学校は 5 月 22 日、「平成 30 年度自転車活用推進功績者」として表彰された。これは昨年 5 月に施行された自転車活用推進法に基づき、国土交通省自転車活用推進本部が自転車の活用の推進に関し顕著な功績があると認められる個人または団体を表彰するというものである。学校を代表して表彰を受けた西本さんは「取り組みを地道に続けてきたことで、生徒の交通安全意識が向上したことが評価されたのだと思います」と受賞の喜びを語った。



国土交通省自転車活用推進本部から「平成 30 年度自転車活用推進功績者」として表彰



英明高等学校教頭代理（生徒指導主事）
西本泰三さん

Honda の高校生交通安全教育

生徒自らが交通事故から身を守るようになるとともに、他の交通参加者への思いやりの心を身につけてほしいという考えのもと、Honda が独自に開発した交通安全教育プログラム。高校生の自転車による交通事故の防止を目的とした「実技教育」や「感受性教育」で構成されている。Honda は、これらの具体的な教育内容を「高校生交通安全教育指導マニュアル」（DVD / CD）としてまとめ、全国の高校に普及している。

活用を希望される高校、団体の方は下記にお問い合わせください。
本田技研工業（株）安全運転普及本部 地区普及課 TEL 03-5412-1150

